

2007 年度

2007. 04. 01

石川日出志教授、1 年間の特別研究。テーマ「弥生中期前半における土器製作技術の革新と其の背景」。高瀬克範が専任講師に就任、専任助手に及川 穰（博士後期課程）が再任、平田 健（博士後期課程）が就任、TA に飯田茂雄、中村新之介（博士前期課程）が就任。人文科学研究所 RA に君嶋論樹（博士後期課程）が再任（学術フロンティア推進事業「環境変遷史と人類」を担当）、日隈広志（博士後期課程）が就任（学術フロンティア推進事業「日本古代文化における文字・図像・伝承と宗教の総合的研究」を担当）。

2007. 04. 11

明治大学博物館友の会主催講演会『日本考古学 2007』が以下の内容で開催された。安蒜政雄教授「明治大学調布附属校用地の調査と旧石器時代研究の現状」、石川教授「小林三郎先生の考古学をたどる」阿部芳郎教授「縄文後晩期研究の新展開」、高瀬講師「弥生収穫具の最前線」。後藤和民氏（創価大学教授）「貝塚から縄文人の暮らしが見える」。

2007. 04. 21

考古学実習室・資料室と博物館考古部門の見学を中心とした新入生歓迎会を開催した。

2007. 04. 29

高瀬講師、第 72 回アメリカ考古学会（於オースティンコンベンションセンター・アメリカ合衆国テキサス州）において“Use angle and motional direction of endscrapers.” と題し研究発表をおこなった（海外出張期間は 4 月 27 日～5 月 1 日まで）。

2007. 05. 18

阿部教授が、印旛郡市埋蔵文化財担当者研修会講演において「印旛沼の貝塚」と題し、講演をおこなった。

2007. 05. 19～07. 01

本学博物館 2007 年度春季特別展「ガウランド 日本考古学の父」が研究室との共催で開催された。

2007. 05. 25～27

日本考古学協会第 73 回総会が明治大学駿河台キャンパスを会場に開催された。研究室と博物館が実行委員会を組織し、OB も加わり運営にあたった。安蒜教授は記念講演として「日本旧石器時代研究の現状と課題」と題し講演した。また、テーマ・セッションとして『旧石器時代文化のはじまりと特質』を設け、問題提起として石川教授が「前・中期旧石器捏造問題の反省をどう生かすか」、山田しょう氏（本学地内遺跡調査団特別嘱託）が「日本旧石器時代の起源に関する研究の問題点」と題し発表をおこなった。ポスターセッションでは、安蒜教授、山科 哲（本学黒耀石研究センター特別嘱託）が「旧石器時代の黒耀石原産地遺跡群の研究—長野県小県郡長和町鷹山遺跡群を中心として—」、安蒜教授、及川助手が池谷信之氏（沼津市文化財センター）とともに「中部高地における黒耀石原産地の開発と移動・居住行動の復原に関する研究」と題し発表をおこなった。

2007. 05. 27

考古学研究室より学術雑誌『考古学集刊』第 3 号を刊行した。

2007. 06. 10

考古学実習 I（1 年次春期）として埼玉県立史跡の博物館・埼玉古墳群を見学。安蒜教授、石川教授、阿部教授、佐々木准教授、高瀬講師が指導、及川助手、平田助手、飯田 TA、中村 TA および大学院生が

指導補助。

2007. 06. 16

第 6 回大学考古学研究交流会在昭和女子大で開催される。石川日出志教授、佐々木憲一准教授、品川欣也（博士後期課程）、及川助手が共同運営として参加した。

2007. 06. 23

安蒜教授、及川助手が池谷信之氏（沼津市文化財センター）とともに日本旧石器学会第 5 回シンポジウム・研究発表会において、「更新世終末から完新世初頭における黒耀石原産地の研究」と題し研究発表をおこなった。

2007. 06. 24～07. 02

佐々木准教授、米国ハーヴァード大学トツアー人類学図書館で文献資料調査を実施した。

2007. 06. 30

教員と大学院生の合同勉強会「どんぐり会」今年度第 1 回を考古学実習室で開催。高瀬講師「搔器の運動方向に関する一考察—北海道島後期旧石器時代前半期の資料を中心に—」など。

2007. 07. 01

石川教授、考古学研究会東京例会で研究発表「蒔田鎗次郎と『弥生式土器』」。

2007. 7. 30～8. 3

石川教授、考古学実習Ⅱ（3 年次）として宮城県栗原市山王遺跡出土資料の整理をおこなった。1～3 年生 10 名、日隈 RA、大学院生 2 名が参加した。

2007. 8. 1～3、7

佐々木准教授、考古学実習Ⅱ（3 年次）として常陸南部の古墳集成作業を実施。3 年生 9 名が参加した。

2007. 08. 03、06～09

安蒜教授、考古学実習Ⅱ（3 年次）として新潟県荒屋遺跡出土石器群の整理作業をおこなった。3 年生 4 名、及川助手と飯田 TA、大学院生 2 名が参加した。

2007. 08. 05

高瀬講師、考古学実習Ⅱ（2 年次）として神奈川県横浜市大塚・歳勝土遺跡の見学をおこなった。2 年生 10 名、平田助手が参加した。

2007. 08. 06～09

阿部教授、考古学実習Ⅱ（3 年次）として千葉県四街道市八木原貝塚出土遺物の整理分析をおこなった。

2007. 08. 09～30

高瀬講師、ロシア連邦カムチャツカ州で発掘調査をおこなった。

2007. 08. 10

佐々木准教授、考古学実習Ⅰ（2 年次）として、長野市大室古墳群を踏査。2 年生 11 名、中村 TA が参加。

2007. 08. 11

安蒜教授、考古学実習Ⅰ（2 年次）として武蔵野台地野川流域を踏査し、本学校地内遺跡調査団発掘調査資料の見学（於府中グラウンド内調査団事務所）。2 年生 4 名、及川助手と飯田 TA、大学院生 3 名が参加した。

2007. 09. 01～09. 09

高瀬講師、青森県むつ市江豚沢遺跡発掘調査を実施した。

2007. 09. 02～10

佐々木准教授、中村 TA は、大学院研究科共同研究「常陸における国家形成期理解のための基礎研究」の一環として、茨城県行方市（旧玉造町域）所在の大日塚古墳（帆立貝形前方後円墳）の墳丘測量調査を実施した。1～3 年生 12 名が参加。

2007. 09. 10～14

高瀬講師、考古学実習Ⅱ（3 年次）として京都市深草遺跡・大阪市瓜破遺跡出土石包丁の使用痕分析をおこなった。3 年生 7 名、大学院生 2 名が参加した。

2007. 09. 12

阿部教授、考古学実習Ⅰ（2 年次）として千葉県成田市台方花輪貝塚の発掘の見学実習をおこなった。

2007. 09. 19

9 月卒業式をおこなった。卒業 6 名。

2007. 10. 04～06

阿部教授、人文科学研究所総合研究で千葉県の利根川下流域の貝塚の巡検をおこなった。

2007. 10. 08

阿部教授、馬場小室山遺跡に学ぶ市民フォーラムの会にて「最先端の縄文研究と馬場小室山遺跡」と題して講演する。

2007. 10. 21

高瀬講師、日本考古学協会 2007 年度熊本大会において「本州島東北部における縄文・弥生期の出土種子」と題し研究発表をおこなった。石川教授も参加。

2007. 10. 28

阿部教授、千葉縄文時代研究会にて「縄文晩期の土版と分類と編年」と題し研究発表をおこなった。

2007. 11. 03

故小林三郎教授一周忌として墓参。安蒜・石川両教授が研究室代表として参列。西日暮里・花見寺布袋尊修性院。

2007. 11. 10

今年度第 2 回どんぐり会を考古学実習室で開催。石川教授「小林三郎先生の考古学をたどる」など。

2007. 11. 11

阿部教授、品川歴史館にて開催の『日本考古学は品川から始まった』の記念事業シンポジウム『貝塚研究の新視点』を企画・参加した。

2007. 11. 17

石川教授、日本文化財科学会公開講演会にて「登呂遺跡を見直す―再調査の成果から―」と題し講演した。

2007. 11. 21～23

石川教授、佐賀県唐津市桜馬場遺跡・小城市土生遺跡・佐賀県立博物館で特別研究の資料調査を実施した。

2007. 11. 18

考古学実習Ⅰ（1 年次秋期）として群馬県岩宿遺跡・岩宿博物館を見学。安蒜教授、石川教授、阿部教授、佐々木准教授、高瀬講師が指導、及川助手、平田助手、飯田 TA、中村 TA および院生が指導補助。

2007. 11. 21

佐々木准教授、鎌倉女子大学にて「テオティワカン—メソアメリカ最大の都市—」と題し講演した。

2007. 11. 28

佐藤由紀男氏 (OB) の博士論文公開報告会を開催した (於リバティタワー第 6 会議室)。

2007. 11. 30

君嶋 RA が退任した。

2007. 12. 08

第 7 回大学考古学研究会が駒澤大学で開催され、早稲田大学の山田俊輔助手と共に佐々木准教授が司会を務めた。石川教授、品川欣也 (博士後期課程)、及川助手も運営に参加。

2007. 12. 15

考古学実習成果報告会をリバティタワー1123 教室で開催した。あわせて、長沼正樹氏 (本学校地内遺跡調査団特別嘱託) による東京都下原・富士見町遺跡の発掘調査成果の報告もおこなわれた。

2007. 12. 23~25

佐々木准教授、中村 TA、大学院研究科共同研究「常陸における国家形成期理解のための基礎研究」の一環として、研究分担者である城西国際大学教授倉林真砂斗氏と共に行方市大日塚古墳の横穴式石室実測調査を実施した。2・3 年生 2 名も参加。

2008. 01. 09

今年度第 3 回どんぐり会開催。内容は『考古学集刊』第 4 号 (2008 年 5 月刊行予定) に執筆エントリーした教員、大学院生の研究発表。

2008. 01. 13

石川教授、関東弥生研究会会長として「シンポジウム 南関東の弥生後期土器を考える」をコーディネート・趣旨説明。

2008. 01. 19

池谷信之氏 (OB、沼津市文化財センター) の博士論文公開報告会を開催した (於 研究棟第 9 会議室)。

2008. 01. 19

日本考古学協会、西アジア考古学会、日本中国考古学会、東南アジア考古学会 4 学会合同の公開講演会「近年のアジア考古学研究成果と国際協力」がリバティタワー1011 教室で開催される。本学文学部と博物館が後援した。佐々木准教授 (日本考古学協会国際交流委員会委員)、中村 TA が開催に協力。

2008. 01. 25

研究室主導編集で卒業生による論文集『地域と文化の考古学Ⅱ』を六一書房より刊行。

2008. 02. 09

卒業論文発表会をアカデミーコモン 309A で開催。

2008. 03. 01

兼任講師打ち合わせ会をおこなった。

2008. 03. 04~08

佐々木准教授、中村 TA、大学院研究科共同研究「常陸における国家形成期理解のための基礎研究」の一環として、茨城県かすみがうら市 (旧千代田町域) 所在の大塚古墳の墳丘測量調査を実施した。1~4 年生 12 名が参加。

2008. 03. 08

阿部教授、佐倉市にて研究発表「印旛沼南岸の後晩期遺跡と地域史」をおこなった。

2008.03.31

高瀬講師、『青森県むつ市江豚沢遺跡発掘調査概報（2007年度）』、『ナルイチェヴォ9遺跡発掘調査報告書（2007年）』を刊行。

2008.03.31

及川助手、平田助手、飯田 TA、中村 TA、日隈 RA が任期満了に伴い退任した。